

九州圏広域地方計画に関する
プロジェクト検討参考資料
(プロジェクト骨子)

平成21年3月27日

九州圏広域地方計画協議会幹事会資料

本資料は、広域地方計画に位置づけるプロジェクトに関する九州圏広域地方計画協議会構成機関による平成21年3月末時点での検討の概要を骨子及び説明図表として整理したものであり、今後これを基礎として、更なる検討を加え、プロジェクトに関する記述内容を中間整理に加えていくものである。

目 次

1．東アジアへのフロントランナーとして発展する九州圏の形成	
1 - 1 東アジアと我が国との関係をリードする魅力ある国際交流フロンティアの形成	1
1 - 2 九州圏の持続的な成長を実現する成長型・牽引型産業群の形成	3
1 - 3 東アジアへの近接性等を活用したフード・観光アイランドの形成	6
1 - 4 新たな発展を実現する東アジア、広域ブロックとの交流・連携の推進	9
1 - 5 東アジア、近畿圏以西と直結する九州新幹線の整備インパクトの最大化	11
2．基幹都市圏を核とした多極型圏土構造と九州圏の一体的な発展	
2 - 1 多極型圏土構造の極となる個性的で魅力ある基幹都市圏の形成	13
2 - 2 文化・知識集約化による創造的都市の形成と多彩な人材の育成	15
2 - 3 九州圏の一体的な発展を実現する基幹都市連携軸の形成	16
3．災害・環境ハザード最前線における安全・安心で美しい九州圏の形成	
3 - 1 減災の視点も重視した災害に強い地域づくり	18
3 - 2 安全で安心な暮らしを支える広域セーフティネットワークの形成	20
3 - 3 美しく自然豊かな環境・景観に親しみ継承していく地域づくり	21
3 - 4 我が国を先導する環境負荷の少ない環境先進圏の形成	22
3 - 5 地球環境に優しく持続可能な低炭素社会・エネルギー先進圏の形成	24
4．拠点都市圏と多自然居住地域の交流による都市自然交流圏の形成	
4 - 1 広域的な都市的利便性を実現する拠点都市圏の形成と集約型都市構造への転換	26
4 - 2 水・緑・食・安全等の互惠関係を実現する都市自然交流軸の形成	27
5．生活中心都市を核とした安心でゆとりある基礎生活圏の形成	
5 - 1 生活支援機能の維持・向上等を実現する基礎生活圏と生活文化交流軸の形成	29
5 - 2 誰もが安心とゆとりを実感できる子育て・生活環境の形成	31
5 - 3 生活活動に密着した地域産業の新たな展開	33
6．離島・半島、中山間地域等の地理的制約を克服する豊かな定住環境の形成	
6 - 1 地理的制約を克服する生活イノベーションの展開	36
6 - 2 離島地域における海洋性気候等に恵まれた豊かな定住環境の形成	38
7．九州圏の各地域の個性を活かした先導的な地域づくり	
7 - 1 恵まれた地域資源を活用した先導的で創造性あふれる地域づくり	40
7 - 2 多様な活動主体を基軸とした地域づくりと地域の担い手育成	41

1 - 1 東アジアと我が国との関係をリードする魅力ある国際交流フロンティアの形成

目的・コンセプト

我が国と東アジアを結ぶ国際交流フロンティアの形成に向けて、東アジアの中で九州圏の個性と魅力を創出していくため、九州圏を舞台とした多彩な国際イベントや東アジアとの共通課題解決型の交流・連携等を推進するとともに、21世紀の成長をリードしていくことが期待される東アジアの成長と連動した発展を図るため、経済活動・交流が活発化する環黄海地域を中心とした東アジア経済圏の確立を目指し、経済活動や主要都市間の活動において緊密な連携・協力関係を構築していくとともに、アジア規模の高度な知識・人材が集積する国際的に魅力ある環境の形成を促進していく。

具体的取組内容

(九州圏の個性と魅力を創出する国際交流・協力の推進)

アジアとの交流を基軸とした国際交流・連携の一層の推進

福岡市におけるアジアの文化、芸術、学術を中心に各種イベントを集中的に行うアジアマンスなど、九州圏を舞台とした国際イベントの推進

福岡、佐賀、長崎、山口4県を含む日韓8県市道による日韓海峡沿岸県市道交流知事会議、九州・沖縄を含むアジア・太平洋地域の主要都市によるアジア太平洋都市サミットなど、国内外の自治体間における国際交流・連携の推進

九州国立博物館における国際文化交流・情報発信機能の強化など、アジアにおける国際的な交流拠点の形成、強化を推進

アジアの共通課題解決に向けた国際協力・貢献の推進

北九州市における環境技術に関する研修員の受入れや専門家派遣の実績等を活かしたアジアの環境人材育成拠点の形成など、アジアの共通課題の解決に向けた国際協力・貢献を積極的に推進

長崎における中国沿岸地域との水産資源分野の技術協力や対馬西岸地域の海岸清掃等による草の根交流など、海外の自治体との間における国際的な課題解決に向けた取組を推進

国際交流・協力を支える国際感覚豊かな人材の育成・強化

福岡と釜山の大学間における国際的なコンソーシアムの形成、大分における大学と連携したアジア・太平洋地域の人材育成機能の充実を図るほか、通訳・翻訳・ホームステイ受け入れ、国際交流イベントへの手伝いなど、国際交流に積極的に参加する国際交流ボランティアを育成

(東アジア(環黄海)経済圏の確立とアジア規模の知的拠点の形成)

東アジア(環黄海)を基軸とした産業・経済交流の推進

環黄海地域の経済交流の深化を図る環黄海経済・技術交流会議、韓国との事業連携を推進する九州・韓国経済交流会議など、国際的な経済・技術交流を推進

北九州・福岡両都市を含む日中韓10都市における環黄海経済圏の発展に向けた東アジア経済交流推進機構会議など、国内外の自治体間における産業・経済交流を推進

佐賀における海洋温度差発電の利用技術等を用いた海洋エネルギーに関する国際的学術研究拠点の形成、長崎における東シナ海、黄海、日本海の水産資源等に関する試験、研究、研修機関の集積による国際的な海洋総合研究ゾーンの形成など、アジアにおける国際的な学術研究や研究開発・技術等の知的拠点の形成、強化を推進

九州圏の経済活性化を実現する投資交流の促進

福岡市の博多湾東部臨海部におけるアジアと協業する新たな拠点づくりなど、国際的な研究開発拠点の形成や交通・情報通信基盤と都市・住宅基盤の整備等による外国企業の九州圏への立地を促進

外国人が安心して生活できるようにするため、福岡における留学生サポートセンターの整備、大分における大学と連携した留学生の生活支援を始めとして、外国人に対する医療、防災等の生活情報等のインフォメーション機能の充実、外国語表示の案内標識等の整備、外国人児童・生徒の教育環境の整備等により、言語や文化、安全・生活面に配慮した外国人にもやさしい地域づくりを推進

国際的な産業・経済交流を支え、企業の競争力を高める高度人材の確保

アジア等からの留学生を始めとする海外の高度な人材の活用と地場企業への就職を促進するため、優秀な留学生への日本語研修、インターンシップ(就業体験)の充実、企業のニーズと留学生を結びつけるコーディネート機能の強化等を図るとともに、産学官連携による留学生の人材ネットワークの形成を推進

1 - 2 九州圏の持続的な成長を実現する成長型・牽引型産業群の形成

目的・コンセプト

九州圏が、世界経済の変化の中で、我が国経済の牽引的役割を果たし、併せて地域の自立を実現していくため、カーアイランド、シリコンアイランドと呼称されるまでに集積が進んだ自動車、半導体産業を始めとした成長型・牽引型産業等について、東アジアの経済成長の中で更なる発展を図ることにより、九州圏全体の発展を牽引する産業群の形成を促進する。また、九州圏が長期的に持続的な成長を図るため、現在の成長型・牽引型の産業群に続く新たな牽引役となり得る成長期待産業の育成を図ることにより、次世代の産業群の形成を促進していく。

具体的取組内容

(カーアイランドの形成)

九州圏の成長を牽引する自動車生産拠点の形成

北部九州において自動車関連産業の集積を図るため、北九州市の旧北九州空港移転跡地における産業団地の整備を始めとした大規模な工業団地、工場用地の確保、港湾、臨港道路の整備等を推進

北部九州の優位性を九州全域に波及させるため、九州各地の工業用地等の確保、港湾、高規格幹線道路網等の産業基盤の整備、九州各地における自動車部品メーカー等への企業誘致活動等を推進

九州圏における域内調達率の向上を図るため、地場企業の受注機会の確保等による新規参入等を支援するとともに、各種研修、専門家派遣等による地場企業の生産管理能力の向上、自動車部品産業等の競争力強化を促進

自動車生産を支える専門人材・高度技術者の育成を図るため、工業高校、高等専門学校や公設試験研究機関における産学連携、実践教育等の導入を推進

次世代自動車の研究開発・生産技術拠点の形成

北九州市におけるカーエレクトロニクスの研究開発拠点の形成など、半導体クラスターと自動車関連産業の融合を促進

福岡における水素自動車の実用化に向けた燃料電池・水素社会分野の研究開発拠点を始めとして、次世代自動車・燃料の先進導入拠点の形成を推進

(シリコンアイランドの形成)

世界市場に通用する競争力と産業集積の確立

世界市場で通用する製品・技術分野を確立するため、福岡における東アジア地域の半導体生産のベルト地帯における先導的なシステム L S I 設計の開発技術拠点、熊本における半導体実装技術開発拠点、大分における半導体評価・解析技術集積拠点など、九州各地に特色ある技術研究開発・生産技術拠点の形成を推進

新産業分野への展開を図るため、半導体・フラットパネルディスプレイ関連分野における産業クラスターの形成を促進するとともに、ベンチャー企業の支援や知的財産権の活用・防御に関する支援等を推進

世界で通用する高度専門人材・高度技術者の育成を図るため、デバイス、製造装置等の専門家やマーケットエンジニア等の高度専門人材の育成を促進

(基幹産業、成長型・牽引型産業の発展)

素材系産業、造船産業等の基幹産業の振興

基幹産業の高度化、新産業分野への展開を図るため、北九州市における国際的な資源循環拠点の形成、大分における鉄鋼産業と連携した資源再利用等、動脈・静脈産業と一体となった事業展開を推進

次世代の人材育成と造船技術の継承を図るため、長崎、大分における造船技術研修拠点の機能強化等を推進

成長型・牽引型産業の発展に向けた横断的対応

空港・港湾、高規格幹線道路網等の物流基盤の整備・機能強化、鳥栖等の流通業務団地の整備など、国際競争力を高める産業基盤の整備を推進するとともに、九州圏が一体となった情報収集・提供や各種優遇・融資制度の設定等による企業誘致活動の強化を推進

(次世代に向けた成長期待産業の育成)

環境・リサイクル関連産業の振興

九州各地の技術・資源等を活かした特色ある環境・リサイクル関連産業の振興を図るため、北九州市における環境・エネルギー分野、長崎における新エネルギー・環境分野、熊本における環境・バイオマス分野、宮崎におけるリサイクル・環境・バイオマス分野、奄美大島における環境・バイオマス分野など、九州各地に特色ある技術研究開発・産業集積拠点の形成を図るとともに、環境・リサイクル関連分野における産業クラスター活動を推進

環境・リサイクルビジネスのアジア地域への展開を図るため、中国・韓国等の海外とのネットワーク形成をさらに進め、環黄海環境ビジネスを推進

エネルギー関連産業の振興

次世代の太陽光関連産業の集積拠点の形成を図るため、熊本におけるソーラー関連産業を始めとして、九州各地に太陽光関連産業の集積を図るとともに、次世代の太陽光関連産業への発展を図る観点からも、メガソーラーの導入・普及等、全国に先駆けた取組を推進

水素利用における先導地域社会の形成による事業化・実用化を推進するため、福岡水素エネルギー戦略会議を通じた水素の生成、貯蔵・輸送から利用促進までの一連の研究開発・実証活動拠点の形成、佐賀における水素製造・燃料電池の開発拠点の形成を図るとともに、これら拠点施設が連携した取組を推進

新エネルギーの実用化・事業化を推進するため、佐賀における海洋エネルギー、バイオマス等の新エネルギー関連分野の産業集積拠点の形成など、九州各地に特色ある技術研究開発・産業集積拠点の形成を促進

ロボット産業の育成

産業用ロボットの高度化・高機能化を推進するため、地場企業の基盤技術の高度化等によるロボット関連部品産業への参入を促進

次世代の家庭用ロボットの实用化・市場創出を促進するため、北九州、福岡両都市を中心とする研究開発、国内外への情報発信、産業化等を図る推進体制の構築、福岡市の博多湾東部における生活空間を想定した実証フィールドや研究開発の整備等を推進

バイオ関連産業の育成

地域特性に応じた特色あるバイオ関連産業の振興を図るため、福岡における久留米を中心としたアジア規模の新産業・バイオベンチャーの創出拠点の形成、熊本における医療・食品・環境分野の次世代バイオ関連産業の創出拠点の形成、宮崎における機能性食品・健康食品関連分野の産業クラスターの形成を促進

新産業の創出を図るため、専門家派遣、産学連携による地域治験医療ネットワークの活動支援等を通じて、創薬、機能性食品等の研究開発の支援を推進

情報・コンテンツ産業の振興

情報サービス産業の集積環境の形成を図るため、北九州市におけるアジア規模の情報プラットフォームの構築によるITサービスの集約拠点の形成、熊本における組み込みソフト等の情報サービス産業の拠点の形成、宮崎におけるリゾート環境を活かした情報通信産業の集積拠点の形成を促進

コンテンツ産業を担う創造的な人材の育成を図るため、福岡における福岡コンテンツ産業拠点会議を中心とした人材育成・確保やビジネス機会等の活動によるコンテンツ産業の振興拠点の形成、佐賀におけるアジア規模のデジタルコンテンツ産業の集積拠点の形成を促進

航空宇宙産業・海洋関連産業の育成

鹿児島における日本最大の宇宙開発拠点を活かした航空宇宙関連産業等の立地を促進

海洋関連産業の育成

佐賀における海洋エネルギー資源の研究開発拠点の利活用や長崎における海洋・沿岸域環境の保全・創出、海洋生物資源の高度利用に向けた研究開発等を推進

成長期待産業の育成に向けた高度な基礎技術の集積

福岡におけるナノテクノロジーの開発拠点の形成、佐賀における高輝度光産業の開発交流拠点の形成、大分における次世代電磁力応用技術の開発拠点の形成を始めとして、先端基礎技術等の研究開発拠点の整備・利活用等を推進

1 - 3 東アジアへの近接性等を活用したフード・観光アイランドの形成

目的・コンセプト

国際的・広域的に魅力ある食の先進地、一大観光地としての発展を目指し、東アジアへの輸出や我が国の食の安定供給に応える高品質で個性にあふれ、安全・安心で環境にも配慮した食料生産地の形成を図るとともに、東アジア等における新たな市場開拓を推進する。また、東アジア・国内等における一大観光地の形成を図るとともに、広域観光ルートの形成を始めとして、国内外の新たなニーズに対応した観光振興を図る。あわせて、誰もが快適な旅行を楽しめる環境づくりを推進する。

具体的取組内容

(フードアイランドの形成)

東アジアへの輸出と食の安定供給に応える高品質で個性的な食料生産地の形成

福岡における次世代あまおうの開発を始めとする収益性の高い農産物の生産地の形成、熊本における新たな品種、栽培方法の確立による独創的な農産物の生産地の形成、宮崎、鹿児島における全国有数を誇る農畜産物、施設園芸等の生産地の形成など、食の安定供給を支える高品質で個性あふれる農林水産物の生産地づくりの推進

食の安定供給を支える競争力の高い農林水産業構造の確立するため、農林水産業の生産基盤の整備等による経営・生産基盤の強化、農業経営の法人化、意欲のある農林水産業の担い手の育成・確保、企業の農業への新規参入等を総合的に推進

付加価値を高める九州ブランドを確立するため、九州圏の公設試験研究機関が連携した白輪ギクの九州統一品種の選定試験、焼耐用大麦の栽培試験、アスパラガスの周年供給体系の技術開発など、将来の九州ブランドの確立に向けた試験研究を推進するとともに、九州各地において、本物・健康・安全志向等の多様な消費者のニーズに対応し、高品質な農林水産物を安定供給できる生産地づくり、ブランド認証制度の創設・運用や販売促進のためのイベント開催等を推進することより、地域ブランドの定着を図り、あわせて、新品種の育成者権や地域団体商標の活用、知的財産意識の普及啓発等を促進

異業種・産学官連携による農林水産業・食品産業の新たな展開を図るため、鹿児島におけるさつまいもを中心とした食料農業クラスターの形成を始めとして、九州各地における食料産業クラスターの形成を推進するとともに、バイオ関連産業の産業クラスターの形成の促進や農林水産業と商工業等との連携による新商品開発、地域産品等の販売促進等を図る農商工連携を推進

安全・安心で環境にも配慮した食料生産地の形成

化学肥料・農薬の適正販売・使用の促進、エコファーマーや有機農業者による生産の促進により、環境との調和に配慮した農水産物・食品の生産地づくりを推進

生産者から消費者までの一貫した食の安全・安心対策を図るため、産地、農業者が農業生産工程全体を通じ、適正な農業を実現する取組や生産・加工・流通などの各段階における情報をそ及することができるトレーサビリティの普及を促進するとともに、食品表示・JAS規格の普及・啓発等を推進

生産者と消費者の信頼性の向上を図るため、地域で生産された農林水産物をその地域で消費する地産地消や健全な食生活を実践できる人を育てる食育等を推進

東アジア等における新たな市場開拓

海外における重点的な市場開拓を行うため、中国・韓国、台湾・香港等における海外市場の動向調査、ニーズ調査等を実施するとともに、消費者ニーズに対応した農林水産物・食品、木材製品等の開発・生産地づくり等を推進

海外市場における販路拡大を図るため、九州圏が一体となった展示会・商談会や情報発信等を推進するとともに、輸出製品のブランド認証制度の創設・運用や輸出先の知識財制度を活用するための情報共有等を推進

輸出先における品揃えや食品鮮度を確保するため、高速RORO船航路、定期航空路線等の高速かつ効率的な輸送を支える物流基盤の整備を進めるとともに、福岡における貿易会社を活用した取組を始めとして、品質保持やコスト削減等を支援する体制の整備等を推進

観光産業、外食産業等との連携による見本市の開催、外国人観光客への伝統料理の体験等を通じて九州圏の食文化への理解増進を促進

(観光アイランドの形成)

東アジア・国内等における一大観光地づくり

国際競争力の高い魅力ある観光地の形成を促進するため、阿蘇・くじゅうにおける世界最大級のカルデラや広大な草原など特徴的な自然景観の活用、別府・由布の情緒豊かな温泉と日豊海岸沿岸の独特な浦文化の連携を始めとして、複数の市町村が連携して滞在型観光を実現する観光圏の形成を各地に展開するなど、地域資源を発掘・活用した個性あふれる観光地づくりを一層推進

海洋・海峡を介した国際的な観光圏の形成を促進するため、日韓旅客航路を活用し、九州新幹線と韓国高速鉄道の全線開業を見据えた日韓観光圏の形成を促進するとともに、世界を巡る外航クルーズ船の寄港地における広域的な寄港誘致活動や国際定期航路の誘致等を推進

広域的な連携による観光地の魅力向上を図るため、福岡、熊本、鹿児島各都市圏を始めとする九州中央の諸都市が縦に連なる地域において、都市のにぎわい、文化芸術活動等の相互連携による国際的な観光ルートの形成を進めるほか、南九州、東・中九州、西九州の各地域において、循環型の高速度交通体系の形成を図りつつ、歴史・文化、健康・癒しなどの魅力ある地域資源を結ぶ広域観光ルートの形成を推進

国内外の新たな観光ニーズに対応した観光振興

九州・山口における近代化産業遺産、長崎・天草における教会群とキリスト教関連遺産を結ぶルート、古事記・日本書紀に登場する日向神話の伝承の地を巡るルートなど、歴史・文化を掘り下げ、九州独自の魅力あふれるテーマに沿った広域観光ルートの形成を促進

柳川、日田、薩摩等のひな祭りや雲仙、嬉野等の冬の灯り祭り等の九州各地の情報共有・発信を始めとして、広域的な連携による九州独自の魅力あふれる観光情報等について、九州圏が一体となった情報発信等を推進

国際交流の拡大を通じた観光振興を図るため、国際会議、国際イベント、国際展示会・見本市等の誘致を推進するとともに、国際的な相互理解の促進にも資する教育旅行（修学旅行）、企業の研修旅行・報奨旅行等の開発や誘致、文化、健康・スポーツ交流等を推進

誰もが快適な旅行を実現する環境づくり

観光地へのアクセスや観光地間の交流・連携を支える交通基盤の整備を図るため、空港、港湾、アクセス道路等の整備、出入国手続き（CIQ）の円滑化、チャーター便の利活用、空港航路の新設、運行ダイヤの改善等を進めるとともに、阿蘇地域におけるDMV（デュアル・モード・ビークル）の導入検討など、新たな交通システムの導入による輸送の効率化、エレベーター、エスカレーター、ノンステップバスの導入等の旅客施設の整備を推進

外国人が安心して旅行できる環境の形成を図るため、ピクトグラム、多言語を用いた案内表示、KIOSK端末等の多言語音声案内、両替所・案内所の設置、通訳ガイドの育成・強化等を推進するとともに、インターネット等による公共交通の乗換え情報等の多言語配信、外国人観光客向けの国内外共通の乗り放題券の発行等の促進を図りつつ、九州圏の周遊をサポートする体制を強化

誰もが旅行しやすい環境の形成を図るため、交通機関の維持・向上、障害者誘導ブロックの設置、低床バス・電車の導入等を推進

1 - 4 新たな発展を実現する東アジア、広域ブロックとの交流・連携の推進

目的・コンセプト

近接する東アジア、広域ブロックと九州圏のそれぞれの地域の広域的な交流・連携を推進し、九州圏の新たな発展の機会を創出するため、これら主要都市間を有機的に連結する東アジア国際交流軸と広域ブロック連携軸の形成を促進する。また、東アジアとの交流・連携を支えるゲートウェイ機能の充実・強化や北部九州における国際物流機能の強化を図るとともに、他の広域ブロックとの交流・連携を支える交通・情報通信基盤の形成を推進していく。

具体的取組内容

(東アジア交流軸、広域ブロック連携軸の形成)

東アジアと九州圏の各地域を結ぶ東アジア交流軸の形成

環黄海地域において、中国、韓国の主要都市との産業・技術、文化等における国際的な交流ネットワークの形成を推進

東シナ海地域において、豊かな自然環境、海洋資源等の保全・活用に向けた国際的な交流ネットワークの形成を推進

他の広域ブロック等と九州圏の各地域を結ぶ広域ブロック連携軸の形成

西瀬戸内海や豊後水道に面する西瀬戸地域において、中国圏、四国圏との産業、観光等における海を介した多様なネットワークの形成を推進

関門海峡を挟み隣接する北九州・下関地域においては、両都市圏の一体的な発展に向けた日常的な交流・連携を、南九州から南の海洋に連なる地域においては、産業、観光等の海を通じた交流・連携を推進

(東アジア等へのゲートウェイ機能の強化)

東アジアへのゲートウェイ機能の充実・強化

国際的な空港機能の強化を図るため、今後の国際旅客需要等へ対応するための総合的な調査を進め、その結果を踏まえた抜本的な対策を図るとともに、アジア等近隣諸国との国際航空路線、東京、大阪を始めとする国内航空路線の拡充、既存空港施設の高質化、維持更新を推進

国際的な港湾機能の強化を図るため、大水深で高規格の国際海上コンテナターミナル、地域の需要に応じた多目的国際ターミナル、複合一貫輸送ターミナル、国際旅客ターミナル等の整備、船舶航行の安全性の向上と船舶の大型化のための航路体系の整備における関係機関が連携した取組を推進

空港、港湾へのアクセス機能を強化するため、アクセス道路の整備を始めとした高規格幹線道路や地域高規格道路等の交通基盤の整備を推進

北部九州における国際物流機能の強化

貨物量の増大と物流コストの低減を実現するため、北部九州の港湾が連携し、東アジア地域との海上輸送の準国内化に対応するための国際RORO船航路等を活用したアジア諸港との高速・高品質輸送や、近接した陸海空の多様な輸送モードによるシームレスな物流ネットワークを形成するための多方面・小ロット輸送を効率化する等の多様なコンテナ輸送サービスの実用化を推進

効率的な物流体系を構築するため、コンテナターミナルと背後の先進的な物流施設が一体となって機能するロジスティクスセンターの形成や国際標準コンテナ車の通行におけるボトルネックの解消を推進するほか、国際貨物航空路線の拡充、鉄道貨物輸送力の増強など多様な輸送手段の強化を推進

東アジア等との日常的な情報交流、ビジネス環境の形成

東アジア等との日常的な情報交流、ビジネス環境を形成するため、日韓海峡を結ぶ超高速大容量ネットワークの利活用、ホームページ等の多言語化や九州圏が一体となった多様な情報発信を推進

1 - 5 東アジア、近畿圏以西と直結する九州新幹線の整備インパクトの最大化

目的・コンセプト

東アジア、近畿圏以西と九州圏内の主要都市等との高速交通交流を可能とする九州新幹線の整備インパクトを最大限に発揮するため、九州各県の玄関口となる新幹線新駅の整備や交流・定住人口の拡大等を目指した取組を進めるとともに、東九州地域等を含め、広域的な波及効果を実現するための交通アクセスの向上等を推進する。あわせて、新幹線沿線など、九州各地の魅力や知名度の向上に向けた取組を広域的に展開していく。

具体的取組内容

九州新幹線の全線開通に向けた基盤整備

鹿児島ルート沿線各県の玄関口としての新幹線駅周辺の機能を高めるため、福岡市における駅ビルの再開発や港湾の国際旅客ターミナルの再編、熊本市、鹿児島市における駅周辺地域の再開発やこれらの交通拠点としての利便性を高める市街地の整備等を推進するとともに、他の新幹線駅における都市のにぎわい再生や交流・定住人口の増大を図るため、鳥栖市、久留米市、大牟田市における新駅周辺の整備等を推進

長崎ルート沿線各県の玄関口としての新幹線駅周辺の機能を高めるため、長崎における駅周辺地域の再開発等による国際観光文化都市にふさわしい都市拠点の形成、嬉野市、大村市における新駅周辺の整備等を推進

九州新幹線の整備による交流・ビジネス人口の増加、商圏・通勤圏等の拡大

来訪者の増加による地域の活性化を図るため、福岡における官民協働による開放性やもてなしの文化を活かした都心の回遊性向上、熊本における豊かな自然、多彩な農林水産物や多様な歴史・文化などの潜在力を活かした取組、鹿児島における着地型観光の振興など、各新幹線駅周辺の都市のにぎわいの創出やビジターズ・インダストリー（集客産業）の振興を推進

商圏、通勤・通学圏や医療圏等の拡大を図るため、鳥栖市における粒子線がん治療施設の整備など、広域的な観点からの利用が求められる施設について、新幹線沿線における整備を推進するとともに、多様な定住環境を創出するためにも、薩摩川内市等における市街地の整備等を推進

九州新幹線長崎ルートの整備効果の発現を図るため、新幹線沿線市町村を中心とした連携や官民一体となった取組による西九州地域における観光振興や産業・経済の活性化、地域住民の利便性の向上を推進

増加する交流人口を広域的に広げる対策

新幹線駅から周辺地域への公共交通の利便性の向上を図るため、熊本における阿蘇地域、天草地域への鉄道・バス等の二次・三次交通アクセスの向上、鹿児島における公共交通の乗換え環境の整備や航路・航空路線の連携による離島地域へのアクセスの向上を始めとして、東九州地域等を含めた交通アクセスの向上を推進

九州新幹線の整備を見据えた魅力ある観光・周遊ルートの形成を図るため、肥薩おれんじ鉄道における熊本・鹿児島間の直通快速列車の運行、JR肥薩線における八代、人吉間の蒸気機関車の運行再開など、新幹線駅を起終点とした魅力ある広域観光ルートの形成を進めるとともに、長崎、熊本、大分の九州を横断する地域における新たな周遊ルートの形成を推進

新幹線駅から周辺地域へのアクセス向上のため、鹿児島における主要目的地までの統一感ある案内標識の充実等を推進

新幹線沿線等における魅力や知名度の向上を目指した取組

北部九州を中心に飛躍的な外国人観光客の増加が見られる東アジアの主要都市をターゲットとした、福岡、熊本、鹿児島 of 諸都市の連携による外国人観光客の誘致や受入れ体制の整備等を始めとして、九州各地が連携した外国人観光客の誘致活動を推進

各新幹線駅から直接交流が可能となる近畿以西の主要都市をターゲットとした、沿線各地域の個性や魅力を近畿圏、中国圏等に情報発信していく取組の推進

2 - 1 多極型圏土構造の極となる個性的で魅力ある基幹都市圏の形成

目的・コンセプト

九州圏の各地域の個性や魅力を創出する多極型圏土構造の極となり、九州圏に住まう人々に高質の生活サービスや就業機会という高次の都市的サービスを提供する地域の自立的発展の拠点を圏域内にバランスよく形成していくことを目指して、福岡・北九州都市圏を中心としたアジア交流広域都市圏の形成を始め、基幹都市圏の中心的都市とその周辺市町村が連携しつつ、その規模や地域特性に応じた九州圏の東西南北等の拠点として、基幹都市圏の個性と魅力の向上を図る。また、高次都市機能の充実・強化や暮らしやすさの向上を推進することにより、広域的な都市的利便性を実現する魅力的な都市圏の形成を図る。

具体的取組内容

(多極型圏土構造の極となる基幹都市圏の形成)

アジア交流広域都市圏とその中心となる福岡・北九州都市圏の形成

九州北部地域においては、北部九州の連担する諸都市圏が広域的な連携を図りつつ、我が国とアジアの国際交流をリードする拠点の形成を目指し、アジアの国際交流・文化拠点、国際学術・研究開発拠点や国際物流・産業集積拠点として機能するアジア交流広域都市圏の形成を進めるとともに、福岡・北九州都市圏においては、アジア交流広域都市圏の中心となる都市圏として、福岡、北九州両都市の機能分担と連携を強化しつつ、アジアの国際交流・文化拠点や国際物流・環境先進拠点の形成を目指した展開の推進

その他の基幹都市圏の形成を目指した展開

その他の基幹都市圏においても、その規模や特性に応じた国際交流の拠点機能を果たしつつ、九州圏の多極型圏土構造を支える地域の自立的発展の拠点として個性や魅力を備えていくため、熊本都市圏においては、熊本市と周辺市町村等との連携を図りつつ、豊かな自然と歴史を活かした九州中央の定住と交流の拠点の形成を、鹿児島都市圏においては、鹿児島市と周辺市町等が連携しつつ、南の海洋に開かれた交流の拠点の形成を、長崎・環大村湾都市圏においては、長崎市と周辺市町及び佐世保市等の大村湾諸都市との連携を図りつつ、海外との交流による独自の国際感覚・文化の蓄積を活かした西の交流とにぎわいの拠点の形成を、大分都市圏においては、大分市と別府市等の別府湾諸都市との連携を図りつつ、西瀬戸地域と交わる東九州の拠点の形成を、宮崎都市圏においては、コンベンション・スポーツ施設等の蓄積を活かした観光・リゾート拠点の形成を、佐賀・筑後都市圏においては、佐賀市と久留米・鳥栖都市圏との連携により、有明海沿岸地域の人、モノの交流拠点の形成を目指した展開を図るとともに、延岡・日向都市圏については、延岡・日向両都市の連携を図りつつ、大分、宮崎両都市圏の遠隔性を補完する高次都市機能や産業集積の拠点の形成を促進

(高次都市機能が高度に集積する基幹都市圏の形成)

基幹都市圏における高次都市機能の充実・強化

高次都市機能の受け皿となる良好な市街地の形成を図るため、福岡市の博多湾東部における新たな拠点の整備や九州大学移転に伴う西部地域のまちづくり等、北九州市、長崎市、熊本市、鹿児島市、大分市等における駅周辺地域の再整備に向けた取組を推進
都市のコンベンション機能の強化を図るため、福岡市、宮崎市、別府市において、既設コンベンション施設や宿泊施設との連携を図りながら、アジアを始めとする諸外国や域内外との交流を図る拠点としてのコンベンション施設の充実、受け入れ体制の強化を推進
個性ある地域文化の創造やスポーツ・レクリエーションの振興を図るため、福岡市における公園等の整備、北九州市における漫画文化の魅力を幅広い世代に伝える拠点施設の整備を推進するとともに、既存施設の利用を促進

基幹都市圏における暮らしやすさの向上

都市内交通の円滑化を図るため、鉄道駅等の交通結節点の改善を始めとする連続立体交差、踏切道の改良や交通事故対策等を進めるとともに、沿道環境の改善を図りつつ、都市圏自動車専用道路や環状道路、バイパスや街路等の都市内道路の整備、自動車から、鉄道、バス等の公共交通機関への乗り換えを促進するなどのパークアンドライド等の交通需要マネジメント（TDM）施策を推進

快適で魅力的な都市空間を形成するため、北九州市における紫川をシンボルとした河川環境整備と一体となったまちづくりや鹿児島における錦江湾の魅力を活かしたウォーターフロントの整備等を推進

快適で住みやすい居住空間を形成するため、公共下水道の整備、電線共同溝等の無電柱化や良質な住宅の供給等を推進

2 - 2 文化・知識集約化による創造的都市の形成と多彩な人材の育成

目的・コンセプト

九州圏において新たな発展の機会を創造していくため、芸術文化、知識財産業等の多様で高密度な集積を有する基幹都市圏において、創造的都市の形成を促進していく。また、知識集約型の多様な産業を創造していく観点から、大学・研究開発機関間等の連携強化を図るとともに、時代の潮流に的確に対応できる多彩な人材の育成・確保に向けた取組を推進していく。

具体的取組内容

(文化芸術等による創造的都市の形成)

文化芸術等による創造的都市の形成

創造的な文化芸術活動等を支える都市環境を形成していくため、福岡都市圏におけるアジアとの文化交流、現代的な文化芸術の振興を通じた創造的都市の形成、熊本都市圏における建築文化の向上への取組を通じた創造的な都市空間の形成を始めとして、個性豊かな新たな都市文化を創造し、情報発信していく都市環境の形成を推進
美術館、博物館、図書館などの文化芸術活動の拠点となる施設の整備、各施設の連携強化や芸術家、デザイナー、建築家等による文化芸術活動等の振興や九州・沖縄が一体となった文化力の情報発信の強化等を通じた創造的都市の形成を促進

(知識集約化による創造的都市の形成と多彩な人材の育成・確保)

知識集約型の多様な産業の創造

九州圏における技術イノベーション、国際化、地域への貢献等の面で地域の発展の原動力となり、その活動を担う独創的な人材育成・定着を図ることが期待される大学、研究開発機関等の高度な集積環境を形成していくため、北九州地域における先端科学技術の教育・研究を担う大学・研究機関の集積による学術研究都市の形成、福岡西部地域における九州大学の新キャンパス移転地を中心とした国際的な学術研究都市の形成を始めとして、大学等の高等教育機関、試験研究機関等の整備・機能強化を推進

地域の研究開発ポテンシャルを結集し、新たな産業の展開に結びつけていくため、公設試験研究機関における県を越えた共同研究等の広域的な連携を推進するとともに、既設の産学官の研究機関の連携強化や異分野の研究機関間での共同研究等による研究開発を推進

大学等の技術シーズを地域の特性を生かしつつ産業化に向けて展開させていくため、コンソーシアム(研究共同体)を組織し、産学官の強力な連携の下での研究開発を促進

時代の潮流に的確に対応できる多彩な人材の育成・確保

時代の潮流変化に対応した人材を育成・確保していくため、大学等の高次教育機能を活用しながら、国際、情報、福祉等における人材育成機能の充実・強化を図るとともに、職業能力開発体制の充実を促進

専門的・技術的分野の人材を育成するため、幼少期から高等教育に至るまでのキャリア教育を通じた人材の育成を図るとともに、産業教育の活性化、インターンシップ(就業体験)の推進

企業家等の活躍の場を創出するため、企業の持つ技術シーズと市場のニーズとを結びつける人材の育成・確保や、地域内外の人材、企業、地域資源等と結びつけるコーディネーター機能の強化を図るとともに、ベンチャービジネスを支援するための環境整備を充実

2 - 3 九州圏の一体的な発展を実現する基幹都市連携軸の形成

目的・コンセプト

九州圏の高次都市機能が集積する基幹都市圏間において、広域的な交流・連携を推進し、圏域の一体的な発展を実現するため、これらを有機的に連結する基幹都市連携軸の形成を図る。あわせて、これらの交流・連携を支える高速交通基盤の整備を推進するとともに、九州各地における高速情報通信基盤の整備状況に応じて、高度な情報通信技術の利活用を総合的に推進していく。

具体的取組内容

(基幹都市圏を中心に交流・連携を繰り広げる基幹都市連携軸の形成)

福岡・北九州、佐賀・筑後、長崎・環大村湾の各都市圏等が連なる九州北部地域において、先進的な国際交流の一層の促進を図るため、学術研究都市や歴史回廊等を活用しながら、東アジアとの文化・学術・研究面での交流拠点を形成するなど、国際色豊かな一体的圏域の形成を推進

福岡・北九州、佐賀・筑後、熊本、鹿児島各都市圏を始めとする九州中央の諸都市が縦に連なる地域において、高次都市機能の広域的な享受、産業連携の強化等を目指した交流・連携を一層推進

福岡・北九州、大分、延岡・日向、宮崎、鹿児島各都市圏等が連なる東九州地域において、都市機能、工業集積、観光資源等の集積間の遠隔性を克服し、そのポテンシャルを活かした地域の更なる発展を図るため、交通体系や流通拠点の形成等による魅力ある産業、文化軸の形成を推進

熊本、延岡・日向両都市圏等を結び九州山地を横断する地域において、九州中央の諸都市が縦に連なる地域と東九州地域の両基幹都市連携軸の機能を補完し、そのポテンシャルを活かした新たな展開の機会を創出するため、交通体系の形成等による新たな産業、文化軸の形成を推進

(基幹都市連携軸を支える高速交通基盤の整備)

九州圏における域内循環の活発化に向けて、基幹都市圏間等を連結するため、高規格幹線道路の整備を推進

地域間移動の利便性向上を図るため、高規格幹線道路等の整備を踏まえ、高速バスの運行の充実、高速バスロケーションシステムを活用した公共交通結節点強化、ETC（ノンストップ自動料金支払いシステム）等の高度道路交通システム（ITS）や既存の高速自動車国道の有効活用を図るスマートインターチェンジの整備を推進

高速幹線交通の形成を図るため、九州新幹線鹿児島ルートについては、2010年度末の全線完成を目指した着実な整備を、九州新幹線長崎ルートについては、武雄温泉から諫早間の整備を推進

(高度な情報通信技術の利活用環境の総合的な整備)

九州各地におけるブロードバンド等の情報通信基盤の整備の進展を踏まえ、情報通信技術の利活用を総合的に推進するため、福岡における情報通信技術の活用による異分野が協働・融合するオープンイノベーション社会の実現、熊本におけるユニバーサルデザインの考え方に基づく誰もが高度な情報通信技術を利用できる環境の整備を始めとして、九州各地における地域特性を踏まえた情報通信技術の利活用環境の整備を推進

地上デジタル放送、携帯端末等を活用した防災・防犯情報の提供、情報通信技術を活用した遠隔医療・教育、地域医療連携等の促進、SOHO、テレワーク環境の整備による時間・場所にとらわれない仕事環境の形成など、多様な暮らしを実現するための情報通信技術の利活用環境の整備を推進

地域産業の生産性の向上や新たな価値の創造を促す観点から、ブロードバンド環境等の産業基盤の整備や情報通信技術の利活用の高度化を促進

行政機関等からの情報利活用を促進するため、利用者の視点に立ったワンストップ型の情報提供サービスの構築や海外への情報発信に向けた多言語化等を推進するとともに、情報セキュリティや情報モラル等の教育を通じた情報リテラシーの向上等を推進

高度な情報通信技術の利活用を支える情報通信基盤として、有線・無線を活用した次世代のユビキタスネットワーク環境の整備や超高速ブロードバンド化、地理的条件の厳しい地域を中心として存在するブロードバンド未整備地域や携帯電話不感地域の解消に向けた地域情報基盤の整備等を推進するとともに、既存の公共ネットワークについて、防災・防犯、医療・教育、医療・福祉、公共交通等の分野における有効利用を促進

3 - 1 減災の視点も重視した災害に強い地域づくり

目的・コンセプト

九州圏は、全国よりも早く異常気象の増加等に伴う災害の影響を受けることが懸念される圏域として、増大する様々な災害リスクに対して柔軟に対応できる圏域の形成を目指し、被害を未然に防止するハード対策を重点的に実施するとともに、ハード・ソフト対策を一体的に進めることにより、減災の視点も重視した災害に強い地域づくりを推進する。

具体的取組内容

災害に強い地域づくりの実現に向けたハード対策の推進

洪水等による災害の発生防止のための筑後川、遠賀川等の河川の整備、ダムの建設、火山噴火、豪雨等による土砂災害防止機能の強化を図るための雲仙・普賢岳、桜島等における砂防や地すべり、急傾斜地崩壊等による土砂災害防止対策、森林の防災・水源かん養機能の強化を図るための治山対策、津波・高潮等による災害の発生防止のための別府港海岸、宮崎海岸等における海岸保全対策を推進

大淀川、五ヶ瀬川、川内川における洪水等により甚大な災害が発生した地域や南大隅町、美里町等における土石流等により甚大な被害が発生した地域での再度災害の防止に向けた対策の重点化を推進

ハード対策の推進にあたっては、整備効果の早期発現を図る観点から、球磨川、緑川等における輪中堤、宅地嵩上げ等の水防災対策など、地域の実情に応じた減災対策を推進
災害・緊急時における公共施設等の機能維持・強化

災害時における避難・緊急輸送等の円滑化を図るため、多重化、代替性を考慮した緊急輸送道路の指定とネットワーク化、橋梁・トンネルにおける耐震強化、通行規制区間における道路の拡幅、バイパスの整備、河川堤防と道路が連結した緊急時の輸送路、避難路の確保、防災ステーションや既存空港の活用による地域防災拠点の整備、港湾・空港施設における耐震強化を推進

公共施設等の適切な維持管理等を図るため、ダムの長寿命化を図るための堆砂容量の確保、老朽化施設や現行設計基準を満たさない施設の安全性等に関する調査・点検、計画的かつ適切な維持管理を推進

減災の視点も重視したソフト対策の強化

平常時からの災害予防・減災、事前準備等の対策として、洪水被害、土砂災害、地震災害、火山噴火等の地域独自の災害事象に応じたハザードマップの整備・普及、生活道路や学校等の既存施設の有効利用による避難路・避難所の確保、災害危険区域の指定による住宅等の立地規制等、防災訓練の実施、災害の特性や対策等に関する防災教育などによる防災意識の向上を推進

発災時における災害応急対応に向けた対策として、CCTVカメラ、各種センサー、災害調査用ヘリコプター等による情報収集体制の構築を進めるとともに、東九州地域における東南海・南海地震等の災害対応のための防災情報システムの整備など、防災行政無線、携帯電話網、インターネット、地上デジタル放送等の多様な手段の活用やマスメディア等と連携した情報提供、高齢者等の災害時要援護者を対象とした避難準備情報の発出等の体制整備等による地域防災力の強化を推進

発災後における情報共有、災害復旧、復興に向けた対策として、正確な被災情報、安否情報の提供、ライフライン等の重要施設の早期復旧に向けた対策を図るとともに、災害時におけるボランティア活動が円滑に行われるための受入れ体制の整備等を推進

地域防災の担い手の育成するため、自主防災組織の結成促進、地域防災リーダー等の人材育成を推進

3 - 2 安全で安心な暮らしを支える広域セーフティネットワークの形成

目的・コンセプト

九州圏のどこに住んでいても、安全で安心して暮らせることを目指し、防災・危機管理体制や救急医療、水資源の確保等の分野において広域的な連携を強化することにより、安全で安心な暮らしを支える広域的なセーフティネットワークの形成を推進する。

具体的取組内容

安全で安心な暮らしを支える防災・危機管理体制の機能強化

防災体制における広域的な連携強化を図るため、国、地方公共団体などの防災関係機関等による被災情報の伝達や被災者保護のための人員、救援物資、機材等の派遣体制の充実、相互協力・連携や、被災地の早期復旧や二次災害の防止に向けた人材・資機材等の相互補完・連携を推進

大規模災害時の対応における情報共有・連携の強化を図るため、九州圏における防災関係機関等が連携し、防災情報通信ネットワークの構築を進めるとともに、防災情報の共有や一元的な情報発信等における機能強化を推進

危機管理体制における広域的な連携を図るため、国民保護計画に基づく広域応援体制の整備・強化、健康被害に関する広域的な情報共有を推進

甚大な災害による経済的・社会的被害の軽減を図るため、官庁・企業等の重要業務にかかるBCP（事業継続計画）の策定等を推進

九州圏のどこに住んでいても、救急・高度医療を受けられる生活環境の形成

災害時・緊急時の救急医療における広域的な連携強化を図るため、救急医療活動の搬送時間短縮に資する高規格幹線道路、生活幹線道路等の整備、ドクターヘリ（救急用ヘリコプター）の九州全域への運航エリア拡大を目指した機能強化・広域的な連携を推進

救急医療体制の充実を図るため、九州各県の総合・地域周産期母子医療センター、小児救急医療施設の整備を推進するとともに、救急医療体制の拡充や医療施設相互の連携を促進

高度医療体制の強化を図るため、佐賀、鹿児島における粒子線がん治療施設の整備等、高度医療施設の充実と広域的利活用を推進

北部九州における安定的な水資源の確保

安定的な水資源の確保における広域的な連携強化を図るため、多目的ダムの建設、既設ダム群等の有効活用を推進

地震等の自然災害や施設事故等の緊急時における対策を図るため、北九州市と福岡都市圏を連絡管で結び、緊急時に水道用水を相互融通する取組を推進

水を大切に使う循環型社会の形成を目指し、都市部における雨水、下水処理水の有効利用を図るための再生水利用等を推進

3 - 3 美しく自然豊かな環境・景観に親しみ継承していく地域づくり

目的・コンセプト

九州圏の豊かな自然と人々が持続して共生していくため、恵まれた多様な自然環境を保全・再生し、健全な状態で次世代に継承するとともに、豊かな自然環境を身近に感じ、親しむことができる生活空間を創造していく。

具体的取組内容

豊かな自然環境・景観の保全

雲仙天草、瀬戸内海、霧島屋久、阿蘇くじゅう、西海の国立公園、耶馬日田英彦山、日南海岸、玄海等の国立公園、世界自然遺産の屋久島など、自然的・社会的諸条件からみて、特に重要な自然環境の保全、適切な利用等を推進

白髪岳、稲尾岳等の自然環境保全地域、沖ノ島、男女群島、草垣島等の国指定鳥獣保護区の保全のほか、屋久島、祖母山、傾山、奄美地域を始めとする森林生態系保護地域、宮崎県南部の照葉樹林帯等の貴重な自然林の保全を推進

人と自然が共生した九州圏の形成

エコロジカル・ネットワークの形成を図るため、国際的な観点から、東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワークの参加地である国指定出水・高尾野鳥獣保護区の保全、ラムサール条約の登録湿地であるくじゅう坊ガツル・タデ原湿原、屋久島永田浜等の保全や奄美・琉球地域の世界自然遺産の登録活動も含め、自然公園等による保全地域の充実を推進

広域的な観点から、緑川上流、大隅半島南部における保護林ネットワークの形成を始めとして、森林、農地、都市内緑地、河川・海岸等における生態的まとまりを考慮したネットワークの形成を推進

生態系や生物多様性の保全を図るため、アマミヤマシギ、ベッコウトンボ、ハナシノブ等の国内希少野生動植物種の保護、山迫・北叔母様、蘭牟田池等の生息地等保護区の保全、マングース、オオクチバス、アライグマなど、貴重な自然環境や生態系等に影響を及ぼす特定外来生物への対策のほか、希少野生動植物等の生育環境の保全に向けた調査等を推進

自然環境保護の意識醸成

福岡市の博多湾東部における和白干潟を中心としたエコパークゾーンや屋久島における環境文化の整備など、自然体験・環境学習等を行う場を創出するとともに、自然環境の回復を図る阿蘇草原の再生や国立公園等における公園利用施設の整備等を推進

自然とのふれあい、レクリエーションの場を創出するため、河川、海岸環境の整備を推進するとともに、都市部における広域的な都市公園、緑地の整備等による自然とふれあえる都市空間を創造

国土管理、環境保全等に資する公共事業の実施

宮崎海岸の侵食対策を進めるための宮崎県中部における総合的な土砂管理に向けた検討など、国土管理に資する事業を展開

道路における透水性舗装の採用、河川における多様な生態系を保全・創出するための多自然川づくり、河道の再自然化や農地における豊かな田園自然環境の形成など、環境保全に資する事業を展開するとともに、自然景観にも配慮した自然素材の活用等を推進

3 - 4 我が国を先導する環境負荷の少ない環境先進圏の形成

目的・コンセプト

九州圏は、産業集積の過程で育まれた環境・リサイクル分野の技術・取組等の蓄積を活かし、循環型社会の構築に向けた先導的な取組を推進することにより、環境負荷の少ない社会を構築していくとともに、貴重な水資源、閉鎖性海域等を良好で持続可能な資源とするための取組を積極的に推進していくことにより、我が国を先導する環境負荷の少ない環境先進圏としての発展を促進していく。

具体的取組内容

我が国でも先導的な循環型社会の構築

循環型社会の実現に向けた広域的な拠点の形成を図るため、北九州市におけるアジア規模の国際資源循環・環境産業拠点を目指した先導的な産業リサイクル拠点の形成、大牟田市における石炭関連技術・公害防止技術等の集積を活かした環有明海地域の環境・リサイクルのネットワーク拠点の形成、水俣市における22分類に及ぶ資源ごみの分別収集等による官民が一体となった資源循環型まちづくりの先駆的拠点の形成など、九州各地において特色ある環境調和型まちづくりを推進

3R(リデュース・リユース・リサイクル)の普及促進を図るため、九州統一のマイバッグの普及促進など、九州圏が一体となったごみの減量化等を推進するとともに、容器包装、家電、食品等の一般廃棄物の特性に応じたリサイクルや、リサイクル製品の認定制度の創設、3Rの普及促進に向けた国民運動の展開等を推進

廃棄物の適正処理と3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進を図るため、一般廃棄物対策として、ダイオキシン類対策、リサイクルの推進や最終処分場を確保する観点からの広域的な連携を推進しつつ、高度な処理能力を有する処理施設の整備、廃棄物の減量化、適正な処理体制の確保等を推進

産業廃棄物対策として、産業廃棄物のリサイクル施設の整備、リサイクル製品の活用促進、産業廃棄物の適正処理、不法投棄の防止等に向けた監視体制の強化、広域的な情報共有や下水道汚泥の減量化、有効利用等を推進

良好で持続的な水循環系の形成

閉鎖性海域の保全に向けた総合的な対策を図るため、有明海・八代海沿岸流域6県の連携を図りつつ、干潟、藻場等の造成・再生、富栄養化が進んだ底質の改善、漁場管理の適正化、浮遊ごみの回収等による海域の自然浄化能力の再生、流域圏等が一体となった流域下水道の総合的な整備や高度処理の積極的な導入等による陸域からの汚濁負荷源の削減を推進

瀬戸内海への流入河川を有する各地域の連携を図りつつ、水質の総量規制等による総合的な保全対策、大村湾、鹿児島湾を始めとする閉鎖性海域における環境基準の達成状況、水質・底質の汚濁状況等に応じた水質保全対策・富栄養化防止対策等を推進

河川、海域、湖沼等における生活排水対策、公共下水道、農業集落排水施設等の整備、河川等の適正な流量の確保、生態系の保全・再生等による河川の水質浄化機能の再生等を推進

水を大切に使う循環型社会の形成

都市部における雨水、下水処理水の有効利用を図るため、福岡市における下水道処理水の再生利用など、再生水利用の促進、湯水時対策の強化を推進

熊本市における節水対策、白川中流の水田かん養等による広域的な連携など、地下水の保全と適正な利用の推進

別府において初の開催となったアジア・太平洋水サミットにおける基本合意に基づく、水問題解決のための水環境保全活動団体のネットワーク化や継続的な活動を推進

公益的機能の発揮が期待される森林、農用地の適正な管理

森林環境税等を活用した荒廃した森林の再生、都市住民や漁業者と連携した森林づくり、竹林の伐採整理、耕作放棄地の適正管理等を推進

3 - 5 地球環境に優しく持続可能な低炭素社会・エネルギー先進圏の形成

目的・コンセプト

九州圏の豊富な自然エネルギー資源の貯存量や先導的な環境技術の蓄積等の優位性を活かし、豊富な地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入・普及や産業・民生・運輸の各分野や都市構造等における総合的な省エネルギー対策を積極的に推進するとともに、環境・エネルギー分野における先導的な取組等を活かし、我が国でも最先端のエネルギー需給構造の実現に向けた取組を推進していくことにより、我が国をリードし、地球環境にも貢献できる持続可能な低炭素社会・エネルギー先進圏としての発展を促進していく。

具体的取組内容

豊富な地域資源を活用した先導的な新エネルギー対策の推進

九州圏の太陽光発電施設の導入量について全国で最も大きい地域を目指した大規模ソーラーシステムの設置の促進、離島における太陽光発電、風力発電、蓄電池等マイクログリッドによるグリーン電力供給の拡大、農林水産業や公共事業で発生するバイオマス資源等を活用した発電・燃料化を始めとして、九州圏の地域資源を活用した太陽光発電、風力発電、地熱発電、廃棄物発電、バイオマス発電、バイオマス資源の燃料化等の再生可能エネルギーの導入・普及を推進

温室効果ガスの排出源対策として、地域の実情に応じた総合的・効率的な利活用システムの構築を図るバイオマスタウンやバイオマス燃料による地産地消等を九州各地に展開
温室効果ガスの吸収源対策として、九州の森林づくりに関する共同宣言に基づき、民有林、国有林が一体となった森林の整備、九州産木材の利用促進、森林環境教育等を推進するとともに、九州森林の日を創設し、森林を守り育て、未来に引き継ぐための森林づくり運動を展開

産業・民生・運輸部門や都市構造等における総合的な省エネルギー対策の推進

水素エネルギー社会の実現を図るため、福岡、佐賀、大分等における水素の生成、貯蔵・輸送から利用促進までの一貫したシステムの構築や燃料電池自動車、家庭用燃料電池等の実証実験等を通じて、地域社会における水素エネルギーの導入・普及を促進

低炭素型都市構造への転換を図るため、北九州市における低炭素街区の構築等によるストック型都市への転換、水俣市における環境と経済の調和した持続可能なまちづくりなど、環境モデル都市における取組を推進するとともに、九州各地におけるコンパクトな街づくり、集約型都市構造への転換や公共交通機関の利用環境の整備等を通じた低炭素地域の形成、都市緑化等によるヒートアイランド対策を推進

産業部門について、北九州市における工場排熱等未利用エネルギーの多面的供給システムの構築を始めとして、未利用エネルギーの有効利用を促進するとともに、エネルギーの自主管理や省エネルギー設備の普及導入、技術研究開発及びその成果の普及など、エネルギー利用の合理化等による省エネルギー対策を推進

民生部門について、ヒートポンプ、コージェネレーションシステム等の省エネルギー関連機器・システム等の導入普及支援、省エネルギーの技術開発、住宅・建築物の省エネルギー性能の向上や長寿命化など、高効率なシステムの導入等による省エネルギー対策を推進

運輸部門について、内航海運や鉄道等の高効率の輸送手段への転換を図るため、福岡における高速RORO船、鉄道、航空機、陸上トラックとの連携による国際複合一貫輸送ネットワークの整備を始めとして、フェリー・RORO船ターミナルや鉄道貨物ターミナル駅の機能強化及びアクセスの強化、クリーンエネルギー・低燃費自動車の導入・普及など、物流の効率化等による省エネルギー対策を推進

交通の円滑化等を図るため、ITS（高度道路交通システム）の利用促進、モビリティ・マネジメント、環状道路の整備、ボトルネック踏切の解消等による渋滞緩和対策を推進するとともに、都市部における公共交通機関、自転車道の整備や利用を促進

我が国でも最先端のエネルギー需給構造の実現

再生可能エネルギーへの転換を図りつつ、電力等の安定的供給と低炭素化を実現する原子力発電の立地推進、核燃料リサイクルの推進や環境調和型石炭発電、天然ガス発電等の石油代替エネルギーへの燃料転換を促進

全国よりも早く地球温暖化に伴う亜熱帯化などの影響を受ける圏域としての対策

気候変動の影響への早期対応を図るため、水資源、生態系、食料、沿岸域、健康等への影響に関する情報収集・観測等を進めるとともに、各部門において必要な調査・研究を推進

地球温暖化や資源・エネルギー対策を身近な問題として捉え、地域住民等の多様な活動に結びつけるため、エコスタイルキャンペーン、エコマイレージ等の地球温暖化防止に向けた住民運動の展開や福岡、佐賀、長崎におけるエネルギーパークの整備等を通じて、地球温暖化や資源・エネルギー対策の普及啓発を推進

4 - 1 広域的な都市的利便性を実現する拠点都市圏の形成と集約型都市構造への転換

目的・コンセプト

九州圏に住まう人々に一定規模の生活サービスや就業機会という都市的サービスを提供する地域の自立的発展の拠点を圏域内にバランスよく形成していくことを目指して、拠点都市圏における都市機能の充実・強化や安全で景観にも配慮した快適なまちづくり等を推進するとともに、集約型都市構造への転換を図ることにより、広域的な都市的利便性を実現する魅力的な都市圏の形成を図る。

具体的取組内容

(広域的な都市的利便性を実現する拠点都市圏の形成)

拠点都市圏における都市機能の充実・強化

魅力ある市街地の形成や良好な都市環境の確保を図るため、自然環境や農業的土地利用との調和を図りながら、諫早市、八代市、都城市等における市街地の整備等を進めるとともに、都市内交通の円滑化のためのバイパス等の整備や鉄道の高架化、連続立体交差等を推進

地域の自立に向けた拠点性の向上を図るため、各地方拠点都市地域の整備を推進

安全で快適なまちづくりの推進

誰もが快適で生活しやすい環境を形成するため、ユニバーサルデザインに配慮した施設整備や公共空間のバリアフリー化等を推進

都市防災、防犯機能を強化するため、公共下水道施設による浸水対策、密集住宅市街地の解消等を推進

水と緑豊かで景観にも配慮した美しい都市景観の形成を促進

(集約型都市構造への転換)

大規模集客施設の適正立地を促進するため、福岡における大規模集客施設を誘導する広域拠点等の設定、誘導など、九州各地の特性に応じた立地誘導を図るとともに、大規模集客施設の立地に関する県間調整を推進するほか、準都市計画区域の活用に向けた検討を推進

中心市街地における都市機能の集約化を促進するため、福岡市では天神・博多駅周辺における都心拠点のまちづくり、北九州市では黒崎地域における文化・交流拠点づくりを推進するとともに、その他の拠点都市圏においても市街地の整備や道路、街路、緑地、公園、駐車場等の公共施設の整備による都市機能のまちなか立地やにぎわい空間の創出を推進

まちなか居住を推進するため、都市の中核的機能を担う学校、図書館等の教養文化施設、医療施設や保育施設、高齢者交流施設等の社会福祉施設について、中心市街地への再配置等を促進するとともに、福岡市の博多部地域における都心居住環境の整備など、まちなかにおける居住環境の整備を推進

公共交通の利便性の向上及び利用を促進するため、長崎市におけるトランジットモールの整備など、各都市圏におけるターミナル施設、待合所の整備や公共交通機関の乗継利便性の向上を推進

4 - 2 水・緑・食・安全等の互恵関係を実現する都市自然交流軸の形成

目的・コンセプト

九州圏の高次都市機能を有する拠点都市圏と隣接する多自然居住地域間において、双方向の交流を促進し、水・緑・食・安全等を介して結びつきのある都市と多自然居住地域の互恵関係の形成を実現するため、多面的な機能を有する森林や農用地等の保全・管理を始めとして、互恵関係にある様々な活動を展開し、これらを広域的に連結する都市自然交流軸の形成を促進する。また、都市住民等の多自然居住地域への価値観の高まりを好機と捉えた活動として、都市と農山漁村との交流や魅力ある二地域居住、定住環境の形成等を推進する。あわせて、これらの交流・連携を活性化させる交通基盤等の形成を推進していく。

具体的取組内容

(山岳・流域、沿岸海域等を介した都市自然交流軸の形成)

山岳を介した都市自然交流軸の形成に向けて、熊本・大分両県の中九州地域において、交通体系の形成を図りつつ、阿蘇を中心とした恵まれた自然を活かした広域交流ルートの強化を始めとする山岳地域と拠点都市との多様な交流・連携軸の形成を推進

流域を介した都市自然交流軸の形成に向けて、九州山地に源を発する各水系の流域に存在する豊かな自然や観光・農林資源、地域固有の歴史、文化等地域の活性化に有力な資源を活かし、筑後川を介した都市と水源地域との上下流交流、白川、緑川等における水田湛水や阿蘇草原の保全等の取組を通じた地下水保全のための広域連携を始めとする各流域圏等を単位とした多様な交流・連携軸の形成や資源管理を推進

沿岸海域を介した都市自然交流軸の形成に向けて、福岡、佐賀、長崎、熊本、鹿児島 の5県にわたる有明海・八代海の沿岸地域において、清掃活動、森林再生等の取組を通じた有明海沿岸地域の保全・再生のための広域連携を始めとして、沿岸海域における多様な取組を推進するとともに、域内各拠点を有機的に結ぶ循環型ネットワークの形成やアジアとの交流・物流拠点の機能強化を図るなど地域の一体的発展を目指した圏域の形成を推進

海洋・島嶼等を介した都市自然交流軸の形成に向けて、東シナ海に面する地域において、アジアへの近接性や豊かな自然環境、海洋資源等を活かし、水産業や観光を始めとする地域の発展を図るため、長崎・佐賀両県の西岸北部諸都市の都市間連携を進めるなど交流・連携を推進するとともに、長崎、熊本、鹿児島 の3県にまたがる九州西岸地域の各拠点を有機的に結ぶ連携軸の形成を推進

(都市と農山漁村等との交流や魅力ある二地域居住、定住環境の形成)

都市住民を中心とした農山漁村の自然環境や暮らしへの関心やスローライフという価値観の高まりを好機と捉えながら、都市と農山漁村との交流を促進するため、綾における有機農法や工芸を活用したスローフード運動の展開や指宿における地域農産物の直売の推進など、九州各地における農山漁村体験・農林水産業体験、地域特産物の提供、自然景観の保全等の取組、地域で生産された農産物や水産物をその地域で消費する地産地消や食に関する教育を通じて健全な食生活を実践できる人間を育てる食育を推進するとともに、道の駅、みなとオアシス等の地域間の交流基盤の整備や廃校施設等を活用した交流拠点施設の整備を推進

二地域居住・定住等の受け皿づくりとして、滞在型市民農園や情報通信施設、給水・排水施設の整備、空き家等を活用した住宅の整備等を通じて、良好な生活環境や地域産業に従事しやすい環境の形成を促進

二地域居住・定住等の受入れ体制づくりとして、住宅・雇用・地域特性等の様々な情報をワンストップで提供する仕組みづくりを推進するとともに、UJI ターン者のニーズ等に応じた住宅・雇用環境等の整備を推進

(都市自然交流軸を支える交流基盤の整備)

都市自然交流軸等における交流の活発化に向けて、拠点都市圏と多自然居住地域を連結するため、地域高規格道路の整備を推進

地域間移動の利便性の向上を図るため、地方鉄道の存続・再生、広域的・幹線的なバス路線の維持や旅客船、フェリー等の利用促進を図るとともに、地域内を運行するバス交通への乗換え施設の整備など、複数の輸送モード間の乗継の改善を推進

5 - 1 生活支援機能の維持・向上等を実現する基礎生活圏と生活文化交流軸の形成

目的・コンセプト

多自然居住地域を中心として、豊かな自然とそれを背景とした地域文化の下で、価値観や生活様式の多様化に応じ、豊かな自然やゆとりある居住環境と都市的サービスを兼ね備え、多様なライフスタイルが実現できる圏域を形成していくことを目指して、生活中心都市が広く分布する九州圏の特徴を活かし、急激に人口減少・少子高齢化が進行する中で、生活中心都市における生活支援機能の充実・強化やにぎわいの再生を図ることにより、生活支援機能の維持・向上を実現する基礎生活圏の形成を図る。また、生活・文化・活動面での一体化を促進するため、これらを有機的に結ぶ生活文化交流軸の形成を促進する。

具体的取組内容

(生活支援機能の維持・向上等を実現する基礎生活圏の形成)

基礎生活圏における生活支援機能の充実・強化

生活支援機能の充実・強化の受け皿となる良好な市街地の形成を図るため、武雄市、日向市、日置市等における市街地の整備等を推進

生活中心都市におけるにぎわいの再生

生活中心都市における都市機能の集約を図るため、教養文化施設、医療施設、社会福祉施設等の中心市街地への再配置や優良な住宅の整備を推進

生活中心都市のにぎわいの創出を図るため、中心市街地における商業基盤施設、商業集積施設や交流拠点施設、駐車場の整備等を推進するとともに、商店街等の活性化を図る観点から、空き地、空き店舗等を活用した施設整備や高齢者等に対応した生活充実型産業の育成によるまちづくりを推進

地域内を巡回する路線バスやコミュニティバスの充実等による公共交通の利便性の維持・向上を推進

個性的で魅力ある農山漁村の整備

農業集落排水事業や農業生産基盤と一体となった農村生活環境の整備等により、快適な生活環境と定住条件が確保された個性的で魅力ある農村整備を推進

(生活・文化・活動等の一体化を促進する生活文化交流軸の形成)

多自然居住地域間を中心に交流・連携を繰り広げる生活文化交流軸の展開

熊本、宮崎、鹿児島 の 3 県にまたがる南九州地域において、重要な食料供給地域としての高付加価値農業地域の形成、多自然・滞在型の広域観光ルートの形成等を目指した魅力ある交流圏の形成を推進

熊本、大分、宮崎 の 3 県にまたがる九州中央山岳部の地域において、農林水産業、観光等の振興を通じた多自然居住地域の創造を目指し、全国でも先駆的な地域づくりの蓄積を活かしながら、多自然居住地域間相互の交流・連携による地域の一体的な発展を推進九州北部や中九州、南九州の県際地域においても、環霧島地域、環多良岳地域など、山岳を環状に囲む地域における環境、観光、防災等の面での広域的な連携や都市機能の役割分担・相互補完の推進、環伊万里湾地域、日豊海岸地域など、沿岸海域の連なる地域における環境、景観、文化等の面での連携を始めとして、共有する自然、歴史、文化や鉄道等を活かしたイベントの開催等を通じて、市町村が県境を越えて一体となって地域の活性化に取り組む県際交流を積極的に推進

生活文化交流軸を支える交流基盤の整備

基礎生活圈間における相互連携の活発化に向けて、基礎生活圈間を連結するため、地域の一体化を促進する生活幹線道路の整備を引き続き推進するとともに、生活幹線道路の交通隘路区間の解消等を推進

5 - 2 誰もが安心とゆとりを実感できる子育て・生活環境の形成

目的・コンセプト

九州圏における人口減少・少子高齢化、核家族化、地域連帯意識の希薄化等の進行に積極的に対応するため、少子化が進行する中で、地域社会で子育てを支援する体制の充実・強化や妊娠・出産から子育てまでの医療体制の充実等により、安心して子どもを産み育てることができる環境の形成を促進するとともに、子どもから高齢者、障害者まで誰もが安心して暮らせ、活動できる生活環境を形成していく。

具体的取組内容

安心して子どもを産み育てることができる環境の形成

地域社会で子育てを支援する体制の充実・強化を図るため、住民に身近な子育て支援、子育てのネットワークづくりの場となる地域子育て支援拠点の設置を促進するとともに、子育てを応援する店舗・企業等の取組や出産・子育ての意義・素晴らしさを社会全体で共有する取組など、九州各県の連携による取組を推進

妊娠・出産から子育てまでの医療体制の充実を図るため、周産期医療体制の充実や小児救急医療拠点病院と小児科や救急搬送機関等の連携強化を推進するとともに、熊本における極低出生体重児の支援や大分における医療や母子保健等のライフステージに応じた体系的な提供など、地域の課題に応じた先導的な取組を推進

子どもの健全な成長と豊かな人間性を育むため、食育の普及・啓発や食の安全と消費者の信頼性の確保等を通じた健康の確保を促進

仕事と家庭の両立を図るため、仕事側の対策として、出産・育児・介護と仕事が両立できるような様々な取組を行う企業の育成を図るとともに、女性の再就職や起業等のチャレンジに関する総合的な支援を推進

家庭側の対策として、ファミリー・サポート・センターの充実・強化、待機児童の解消を図るための保育サービスの確保や延長保育、一時保育等の多様な保育サービスの充実を図るとともに、昼間保護者がいない家庭への対策として、放課後児童クラブ等の設置促進、空き店舗等の既存ストックを活用した保育施設等の設置支援を推進

誰もが安心して暮らせ、活動できる生活環境の形成

高齢者、障害者等が安心して暮らせる地域社会を形成するため、佐賀における地域共生ステーション、熊本における地域の縁がわづくりなど、誰もが集い、支え合うための活動拠点の整備を推進するとともに、障害福祉サービス等の計画的な基盤整備を推進するほか、高齢者に対する総合的・一体的な保健・医療・福祉サービスを充実

医療・福祉について、医師が不足している地域の解消に向けて、延岡における小児医師の集約化による広域的な小児医療体制の確立を始めとして、周辺市町村が連携し、救急医療体制の確保を図るとともに、地域、行政、医療機関等が相互に連携を図りながら、保健・医療・福祉の向上に一体的に取り組んでいくため、地域においてこれらのサービスが切れ目なく提供される地域包括ケアシステムの構築等を促進

誰もが安心して暮らせる居住環境を形成するため、住宅市場において自ら適切な住宅を確保することが困難な者の居住の安定化を図るための住宅セーフティネットワークの構築を図るとともに、高齢者等の入居を受け入れる民間賃貸住宅と居住支援に関する情報提供、ケア付き住宅の供給や住宅と福祉施設等との一体的整備等を推進

高齢化社会に必要な福祉・介護等のサービスを適切な知識や技術を用いて提供できる人材の育成・確保を推進

誰もが快適で生活しやすいユニバーサルデザインに配慮した生活環境の形成を図るため、熊本における公共・民間建築物へのユニバーサルデザインの普及・整備など、住宅、建築物、公共交通機関、歩行空間など生活空間のバリアフリー化を推進し、連続したバリアフリー環境の整備を推進するとともに、交通安全対策を推進

高齢者、身体障害者の介助体験、疑似体験等を通じて、交通バリアフリーについての理解を深めるとともに、ボランティアに関する意識を高めるなど、心のバリアフリー社会の実現を目指した取組を推進

高齢者等が意欲に応じて社会参加活動を行い、健康で生きがいを持てる生活環境の形成
シルバー人材センター等の高齢者、障害者の就業機会確保のための環境整備や、高齢者、障害者等の生きがい、ふれあい、健康づくりのための文化・スポーツ活動、ボランティア活動等、地域社会への参加を容易にする環境整備を推進

5 - 3 生活活動に密着した地域産業の新たな展開

目的・コンセプト

九州圏の基礎生活圏や周辺の多自然居住地域は、厳しい雇用情勢にあることを踏まえ、今後大幅な需要増が見込まれる生活充実型のサービス産業などの成長期待産業の育成、地域産業の高付加価値化や新分野への事業展開を図るとともに、農林水産業、観光産業等の新たな展開を図ることにより、それぞれの地域において魅力ある就業環境を創出していく。

具体的取組内容

(成長期待産業の育成や既存産業の新たな展開)

今後の成長が期待される生活充実型のサービス産業の振興

健康・福祉サービス、生活利便サービス分野等の生活充実型のサービス産業の振興を図るため、医商連携による高齢者・育児支援サービスの充実やサービス産業の生産性の向上に向けた先導事例の普及啓発等を推進

地域産業の振興による多様な雇用機会の創出

地域企業の潜在力が発揮できる環境整備を図るため、工業適地・工業団地、工業用水道等の産業用共用施設の整備や空港・港湾、高規格幹線道路網等へのアクセス網、ブロードバンド利用環境等の高速情報通信基盤等の整備を推進するとともに、九州各地における企業誘致活動を推進

地域企業の競争力の強化を図るため、地域企業の生産連携、産学官の連携、IT活用等への支援等により、最適生産、販路拡大等を図るとともに、中小企業等の基盤産業の育成や基盤技術の高度化による地域企業の技術開発力の強化等を推進

地域企業の技術力の向上を図るため、地域企業と大学等研究機関の連携を通じた共同研究の一層の推進

産業の高度化、新産業分野への展開を図るため、新産業分野への開拓を図る事業者等へ幅広く支援するとともに、中核的支援機関を中心に新事業支援機関が連携し、研究開発から事業化までの一貫した支援を行う体制の構築等を推進

我が国でも一大産地を誇る家具や窯業等の伝統産業の振興を図るため、伝統工芸品の地域ブランド化、消費者ニーズの多様化に対応した新技術の導入、伝統技術の応用等の伝統産業の高度化を推進するとともに、産地ブランド商品の知名度の向上と販路拡大を促進

(農業の新たな展開)

食料の自給力強化・安定供給と多面的機能の確保

優良農地の確保を図るため、かんがい排水事業、総合農地防災事業等の推進や農道、農地の整備などによる農業生産基盤の整備を推進するとともに、農業水利施設等の長寿命化、効率的な更新等を推進

農用地の有効利用を図るため、農地情報の共有化、農地の面的利用を進め、耕作放棄地・遊休農地の早期解消や一般企業等の新規参入への支援を推進

農業経営の安定化・効率化と農業経営者の一定の所得水準を確保するため、農業経営改善計画の認定農業者、集落営農組織の育成・確保等による経営安定化対策、農地の流動化、農業経営の法人化等による経営規模の拡大を推進

農業の次世代の担い手等の確保・育成を図るため、新規就農希望者の受入体制や経営支援体制の構築等を推進するとともに、農業生産や農業社会において重要な役割を果たす女性が農業経営等への参画するための環境整備を推進

鳥獣被害への対応として、長崎、佐賀両県におけるGIS等を活用した情報共有など、九州各地における対策を推進

近年の原油・穀物等の価格変動にも対応できる農業構造を確立するため、熱利用施設の高効率化に向けた技術指導、飼料自給率の向上や生産性の向上を推進

農産物の高付加価値化と新たな事業展開

農業の技術開発や新たな技術の導入・活用を図っていくため、農業試験場等による研究開発機能の強化、農業技術開発や教育研修機能の充実・強化を図るほか、農商工連携等を推進することにより農業経営の基盤の強化を推進

安全で安心できる農産物の安定的な供給を目指し、健全な土づくりを基本に減化学肥料や減農薬などによる栽培技術を確立するなど、環境にやさしい農業を積極的に推進
産地ブランドづくりを推進するため、地域団体商標の活用等を推進するとともに、生産者が流通・販売環境までを把握し、消費者等の評価を高める産地づくりを推進

(林業の新たな展開)

森林の適切な整備を通じた木材の安定供給を図るため、熊本、大分、宮崎、鹿児島等における施業の集約化や路網整備と高性能林業機械を組み合わせた低コスト・高効率の作業システムの整備、普及・定着を進めるとともに、民有林、国有林が一体となった原木の安定供給体制の整備を推進

木材工業・木材関連産業の技術力・研究開発機能の向上や木材加工拠点づくりの取組等による林業・木材加工業の経営規模の拡大等を図り、需要者・消費者のニーズに対応し、国際的にも競争力ある地域材の供給体制を整備

林業の担い手の確保・育成を図るため、林業生産組織の活動支援、若年層等の就業者の確保・育成や技術・技能研修等を推進

地域内の木材需要の拡大を推進するとともに、大消費地での木材の利用を促進

(水産業の新たな展開)

水産業の生産性の向上と資源の持続的利用を促進するため、長崎の人工海底山脈による漁場造成を始めとする沿岸漁場の整備のほか、栽培漁業、資源管理型漁業、養殖漁業等のつくり育てる漁業を総合的かつ有機的に推進するとともに、新しい栽培魚種の開発や種苗の量産技術開発等の研究開発機能の強化を推進

漁村の良好な自然環境を活かした豊かなウォーターフロントの形成や水揚げから流通・加工までの一貫した水産物供給基地としての機能充実に向けての漁港の整備を進めるとともに、競争力ある流通加工体制の整備を促進

水産物の高付加価値化を図るため、地域特産魚のブランド化や販路拡大を推進するとともに、海洋レジャー、観光などの他産業との複合的な取組を推進

水産業の担い手の確保を図るため、作業の省力化、安全性の確保等、労働環境の改善を図り、高齢者や女性にも配慮しつつ、漁業者の就労条件の改善を促進

近年の原油価格変動にも対応できる漁業構造を確立するため、漁業者の省エネルギー化への支援や近海での漁場整備等を推進

(観光産業の振興)

阿蘇の世界最大級のカルデラや別府の世界有数の湧出量を誇る温泉、桜島の活動的な火山を中心とした錦江湾の景観など、豊かな自然や歴史的な遺産を活かした魅力ある観光地づくりや観光・レクリエーション拠点の整備を進めるほか、観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進を図るとともに、九州圏が連携して新たな広域観光ルートの形成を進め、観光客の誘致活動等の取組を推進

今後求められる観光サービス分野への転換を促進するため、安心院における会員制の農村民泊、水俣・芦北地域における環境教育体験を始めとする体験・参加型観光、屋久島、佐世保におけるエコツーリズムを始めとする自然学習型観光、日之影等における森林セラピーを始めとする健康づくり型観光、直入における湯治滞在や平戸におけるキリシタン文化巡りを始めとする長期滞在観光、福岡における産業観光など、九州各地の地域特性、地域産業と密接に連携した新たな観光スタイルの創出

地域における観光人材を育成するため、地域の観光産業を支える観光リーダーや観光インストラクター、観光ボランティアガイド等の育成を図るとともに、ご当地検定等を活用したガイド専門家の育成を促進

6 - 1 地理的制約を克服する生活イノベーションの展開

目的・コンセプト

九州圏に広く分布している離島・半島、中山間地域等の地理的制約等の厳しい地域では、定住条件の改善に向けて、都市部へのアクセス条件の改善、日常生活に必要な生活交通等の移動手手段、医療等の社会的サービスの確保や高度な情報通信技術の利活用環境の形成等を図るとともに、中山間地域等における定住基盤の整備等を通じて豊かな定住環境の形成を図る。また、地域の特色や地域資源を活用した活性化に向けて、交流人口の拡大による活性化や基幹産業の振興等を図る。あわせて、人口の減少・高齢化が著しく、維持・存続が危ぶまれる集落については、集落の存続・再生に向けて、集落の実情等を踏まえた対策を進める。

具体的取組内容

地理的制約等の厳しい地域における定住条件の改善

都市部へのアクセス条件を改善するため、地域の生命線となる生活幹線道路の整備、離島地域における九州本土との交通を担う道路等の整備や半島地域における広域的かつ総合的な交通を担う道路等の整備を推進

日常生活に必要な生活交通を確保するため、公共交通機関の維持・確保が困難となりつつある交通空白地帯や交通不便地域等において、路線バス等の生活交通の維持・確保を図るとともに、デマンドバス、乗合タクシー、NPO等による有償運送の活用など、地域の実情に応じた効率的で利便性の高い生活交通体系の確立を推進

地域の社会的サービス等の充実を図るため、へき地医療拠点病院や診療所の整備・運営、巡回診療等を支援するほか、無医地区等における診療所医師等の安定的な確保等を推進
高度な情報通信技術を活かし、多自然居住地域における多彩なライフスタイルの展開を可能にしていく観点から、ブロードバンド未整備地域の解消、携帯電話利用エリア拡大等により地域情報通信基盤の整備を推進するとともに、地域における社会的サービスの確保や雇用拡大を図る観点から、遠隔地医療、SOHO、テレワーク等の利用環境の整備を推進

地理的制約等の厳しい地域における定住環境の形成

中山間地域等における定住基盤の整備を図るため、公共下水道、浄化槽、農村集落排水施設、漁業集落施設等の汚水処理施設の整備、農業生産基盤と農村生活環境基盤の整備を総合的に実施するとともに、農業生産の維持を図りつつ、耕作放棄を防止し、多面的機能を確保する観点から、中山間地域等における継続的な農業生産活動を行う農業者等への支援、地域固有の自然環境、景観の保全、伝統・生活文化の継承等を推進

地理的制約の厳しい地域における防災性の向上を図るため、南大隅町等における土石流対策を推進

地理的制約等の厳しい地域における特色や地域資源を活用した活性化

交流人口の拡大等を図るため、中山間地域等における再活性化を目指した個性と創意工夫による地域づくりを推進するとともに、グリーン・ツーリズム等による都市と農山漁村の交流を促進

農林水産業等の基幹産業の振興を図るため、宮崎における集落における高品質で収益性の高い農業の定着や植栽未済地の解消、鹿児島における桜島の火山活動による農業被害の軽減を図るための生産基盤の整備を推進

その他の中山間地域等において、農林水産業の生産性の向上や高収益・高付加価値型の産業振興を図るとともに、農林水産業の複合的、多角的な経営を推進し、あわせて、生産基盤の整備や鳥獣被害の防止等を推進

半島地域において、観光・交流の促進、定住の促進等の主体的な取組を促進

人口の減少・高齢化が著しく、維持・存続が危ぶまれる集落への対策

九州各地の集落の実情等に応じて、集落における居住の実態や住民の不安・要望を行政が継続的に把握するための調査等を進めるとともに、中心・基幹集落への機能の統合・再編成などを含めた暮らしの将来像について行政と住民との間で合意形成を図りつつ、公共的な投資・土地利用等のあり方を検討

集落存続に向けた対策として、大分における小規模集落の維持・活性化に向けた集落外からの応援や課題解決への取組の支援、宮崎における元気な集落づくりに取組む集落のネットワーク化、鹿児島における災害時の集落の孤立化対策の強化等を始めとして、地域住民の需要に応じた暮らしを支える医療・福祉サービス、生活物資を届けるサービス等の確保や防災上特に危険な集落への対策、集落の有する固有の伝統文化・風俗慣習などの継承等について必要な支援を実施

資源管理水準が著しく低下した家屋・宅地・農用地・森林等について、国土保全等の観点から、管理・活用を図るための一定の工夫・仕組みの検討や必要な支援を実施

6 - 2 離島地域における海洋性気候等に恵まれた豊かな定住環境の形成

目的・コンセプト

島内で一定の生活圏を形成しなければならない離島地域では、自立的発展に向けた定住条件や競争条件の改善に向けて、都市部への定期的な交通アクセス、救急医療等の社会的サービスの確保や高度な情報通信技術の利活用環境の形成等を図るとともに、島内における交通・情報通信基盤の整備等を通じて一定の生活圏の形成を図る。また、離島にしかない特色や地域資源を活用した活性化に向けて、交流人口の拡大による活性化や農林水産業等の振興を図る。

具体的取組内容

離島地域の自立的発展に向けた定住条件や競争条件の改善

都市部との定期的な交通アクセスを確保するため、離島港湾ターミナルの整備、離島空港や離島航空路線の維持等を推進するとともに、本土からの交流人口の増加等による離島航路、航空路線の活性化も図りながら、経営環境の厳しさが増している生活航路・路線の確保を推進

離島地域における社会的サービス等を確保するため、長崎の離島地域におけるドクターヘリの運行による救急医療サービスや無医地区における巡回診療の確保を図るほか、奄美地域における琉球地域と連携した救急・高度医療サービスの充実に向けた検討を促進
無医地区以外の地区においても、慢性的に不足している診療所医師・看護師等の安定的な確保や本土医療機関とのネットワーク化による救急医療体制の充実を進めるとともに、出産期における医療サービスの充実や経済的負担の軽減等により、安心して出産できる環境の形成を図り、あわせて、高齢者等の本土への総合病院等への通院等を支援するため、港湾等におけるバリアフリー化を推進

長崎における情報通信サービスを活用した離島活性化の検討や離島、本土間におけるブロードバンド環境の整備に向けた検討を進めることにより、離島地域における高度な情報通信技術の利活用環境の形成を推進

島内における一定の生活圏の形成

離島地域における島内循環の活発化を促進するため、生活幹線道路の整備を推進するとともに、奄美群島におけるブロードバンド基盤の整備を始めとして、島内における高度情報通信基盤、離島・本土間的高速通信網の整備と多様な情報共有を推進

離島地域における美しい生活環境を形成するため、離島固有の自然環境、景観の保全、伝統文化の継承等を推進するとともに、壱岐、徳之島における公共下水道、浄化槽の整備など、離島地域の生活様式に対応した汚水処理施設の整備を推進

廃棄物の排出量抑制や減量化、リサイクル等を推進するとともに、離島地域の実情を踏まえた廃棄物の効率的な処理のあり方について検討を進め、あわせて、離島を中心として課題となっている漂流・漂着ゴミ対策についてモデル的な調査を推進しながら、効率的・効果的な処理・清掃方法の検討を促進

排他的経済水域の保全等の面で特に重要な役割を担っている国境・外洋離島等について、このまま人口減少等が進めば、その重要な国家的役割を果たすことが困難となるおそれがあることから、交通アクセスの改善、農林水産業を中心とした産業振興、観光振興等に対して、なお一層の支援を検討

離島地域にしかない特色や地域資源を活用した地域の活性化

交流人口の拡大による活性化を図るため、九十九島地域における自然景観や自然環境などの魅力を活かした交流拠点の整備、五島、吉岐・対馬地域における離島留学の推進、奄美地域における群島全体を博物館に見立てた地域づくりを始めとして、離島の特性や豊かな自然、伝統文化等を活かした取組を積極的に推進

海洋性気候等に恵まれた自然環境を活用した保養、療養活動（アイランドセラピー）、ブルー・ツーリズム等の離島における体験・滞在型の離島観光を促進

農地・森林や漁港等の生産基盤の整備、人工魚礁等による漁場造成、養殖場の造成や農水産業を支える担い手の育成を図るとともに、甑島地域における海洋深層水を利用した特産品の開発や最先端の冷凍保存技術を活用した流通環境の改善を始めとして、離島の遠隔性を克服し、高付加価値化を高めるための取組を促進

7 - 1 恵まれた地域資源を活用した先導的で創造性あふれる地域づくり

目的・コンセプト

九州圏の恵まれた地域資源を最大限に活用しながら、全国的にも先駆的な地域づくりの蓄積等を活かしながら、地域への愛着を醸成し、域外との交流促進にもつなげる歴史・文化を活かした地域づくりや個性豊かな新たな地域文化を創造し、情報発信していく地域づくり等を推進することによって、先導的で創造性あふれる地域づくりを九州各地に展開していく。

具体的取組内容

恵まれた地域資源を活用した個性的で魅力ある地域づくり

福岡における神楽等の地域資源の活用による新たな連帯地域の形成を目指した京築連帯アメニティ都市圏構想、熊本における水俣・芦北地域の振興を通じた環境共生型の地域づくり活動、大分における観光と地域づくりを一体的にとらえたツーリズムの振興、鹿児島における奄美地域の長寿・子宝等の特性を活用した少子・高齢化対策のモデル地域の構築を目指した取組など、地域資源を活用した全国でも先導的な地域づくりを推進
宮崎における山村固有の生活文化を生かしつつ、人と森林が共生する森林理想郷を目指すフォレストピア構想、熊本と宮崎両県からなる九州山地を中心とした地域の自然、歴史、生活文化を観光資源として活用し、都市住民との多様な交流の促進や地域産業の活性化を図る九州ハイランド構想や熊本、大分、宮崎の3県にまたがる九州中央地域の市町村を中心とする連携・交流活動、関門地域や南九州地域、奄美群島・沖縄北部における県際交流など、広域的な連携・交流による地域づくりの動きを積極的に促進

地域への愛着を醸成し、域外との交流促進につながる地域づくり

九州・山口の近代化産業遺産群、長崎、熊本における教会群とキリスト教関連遺産、宗像の沖ノ島と関連遺産群、阿蘇山との共生とその文化的背景や宇佐・国東半島地域における神仏習合の原風景等の世界遺産への登録活動や、島原半島、天草御所浦、霧島等の地質資産を活用した世界ジオパークへの認定活動を推進

吉野ヶ里遺跡、原の辻遺跡、大宰府跡、熊本城跡、名護屋城跡等の特別史跡、鞠智城跡、大友氏遺跡、出島和蘭商館跡、福岡城・鴻臚館跡等の重要な史跡について、国営吉野ヶ里歴史公園、壱岐の埋蔵文化財施設、博物館等の整備を始めとして、歴史的な建造物等の保存、復元を図るとともに、周辺地域と一体となった歴史的風土の保全と活用を積極的に推進

関門地域、筑後地域、南阿蘇地域等における広域景観の形成を始めとして、都市景観や沿道景観等の形成、景観条例の制定、まちづくり協定・伝統的建造物群保存地区への指定や街なみ環境整備等の取組を通じて美しいまちなみの形成を促進するとともに、景観に配慮した営農活動や施設整備等による棚田等の農村特有の良好な景観の保全・整備、棚田オーナー制度の活用等による美しい里地・里山の保全を推進

7 - 2 多様な活動主体を基軸とした地域づくりと地域の担い手育成

目的・コンセプト

個性と魅力のある地域社会を創造するとともに、少子高齢化や防犯・防災、居住環境・環境保全、身近な国土基盤の管理への対応など、地域の活性化や地域で顕在化している様々な課題の解決を図っていくため、地域住民、NPO・ボランティア団体、企業等の多様な主体の参加の下で、地域の創意と工夫に基づく地域づくりや新たな公による取組を広範囲に展開していくとともに、資金の小さな循環の形成等の持続可能な地域づくりの実現に向けた取組を推進することによって、多様な活動主体を基軸とした地域の創意と工夫に基づく地域づくりを九州各地に展開していく。

具体的取組内容

多様な主体の参加による先導的な取組の推進

多様なコミュニティ活動を基軸とする美しい農村づくりのための佐賀農業・農村むらぐらみ発展運動、鹿児島における地域社会の様々な構成員がともに協力し、支え合う共生・協働の地域社会づくりや、日本初のまち歩き博覧会である長崎さるくの開催を契機とした住民参加型の観光まちづくりを始めとして、多様な主体の参加による先導的な地域づくりを一層推進

熊本中央地域を中心に実施されているNPO等による福祉有償運送など、新たな公による高齢者、障害者福祉・子育て対策の推進

長崎における犯罪のない日本一安全・安心な地域を目指した官民連携による防犯活動や、宮崎における官民連携による情報通信技術を活用した防犯・防災情報の共有など、新たな公による防犯・防災対策の推進

福岡市における博多・天神エリアの住民・企業・行政等の参画による都心環境づくりや、豊後高田市における官民一体となった昭和のまちの再生など、新たな公による居住環境整備の推進

官民連携による虹の松原の保全・再生、由布院の住民主導による田園景観づくり、錦江湾の海岸環境の保全に向けた清掃活動など、新たな公による環境保全・景観対策の推進
身近な国土基盤について、多様な主体の参加・参画を図るため、官民協働による美しいみちづくりの推進を図る九州風景街道や九州一体となった道路保全活動等の促進を図る道守九州会議等の取組を推進するとともに、河川・道路・公園・港湾等の公共空間におけるアダプト・プログラム等による美化・清掃活動の導入・普及を促進

多様な主体の活動環境の形成を図るため、新たな公によるコミュニティ創生に向けた活動の支援やNPO、ボランティア活動のネットワークづくりや市民社会組織の活動環境の整備等を推進

持続可能な地域づくりの実現

新たな公による活動・交流を支援するため、資金、人材、情報等を仲介する役割を果たす中間支援組織の機能強化を推進

資金の小さな循環の形成を促進するため、コミュニティビジネスの展開や地域通貨の発行等による小さな資金循環の仕組みづくりのほか、事業を特定して購入者を応募するミニ公募債、NPOバンク、コミュニティファンド等の組成など、多様な取組を促進

CSR（企業の社会的責任）や個人の地域貢献意欲などによる志ある投資を促進